第 25 回 桐生市農業委員会議事録

開会日時	令和7年6月30日(月) 午後 2時 00分
閉会日時	同 上 午後 3時 07分
開催場所	桐生市市民文化会館 スカイホールB (4階)
出席委員	25名 農業委員 1番 富田 正次郎 2番 杉戸 恵司 3番 山形 啓子 4番 川口 賢一 5番 山形 ちづ代 6番 井田 秋雄 7番 星野 重彦 8番 山形 栄子 9番 坂本 久美子 10番 星野 昭彦 11番 中島 篤 12番 渡辺 隆司 13番 矢内 鉄男 14番 今泉 芳雄 農地利用最適化推進委員 1番 金子 博一 2番 荻原 完一 3番 武 幸一 4番 木村 聡 5番 大澤 隆 6番 小菅 雄一郎 7番 多和田 圭一 8番 丹羽 康博 9番 中村 耕一郎 11番 深澤 憲司 12番 太田 亮一 [遅刻委員] [中座委員] [早退委員]
欠席委員	10番 齊藤 克代
議事参与	5名 事務局長 新井 八寿代 主査 鳥井 貴史 次長 山藤 健二 係長 石原 幸枝 主査 細井 裕子
議 事	日程第1 議事録署名委員の指名 日程第2 会期決定の件 日程第3 第101号議案 農地法第3条の規定による許可申請について 委員会処分 2件 第102号議案 農地法第4条の規定による許可申請について 委員会処分 1件 第103号議案 農地法第5条の規定による許可後の計画変更申請 について 委員会処分 1件 第104号議案 農地法第5条の規定による許可申請について 委員会処分 5件 日程第4 報告第47号 農地法第4条第1項第7号の規定による届出について 報告第48号 農地法第5条第1項第6号の規定による届出について

開 会 午後 2 時 00 分

議 長

ただ今から第25回桐生市農業委員会を開会いたします。

ただ今の出席委員は農業委員14名、推進委員11名であり、定足数に達しておりますので、直ちに会議を開きます。

日程第1「議事録署名委員の指名」を行います。

議事録署名委員は、会議規則第26条第3項の規程に基づき、10番星野昭彦委員及び11番中島委員を指名いたします。

なお、本日の会議書記には事務局職員の鳥井主査を指名いたします。

日程第2「会期決定の件」を議題といたします。

お諮りいたします。本総会の会期は、本日1日といたしたいと思えます。これにご異議ありませんか。

(異議なしの声)

異議なしと認めます。よって、会期は本日1日と決定をいたしました。

日程第3 第101号議案「農地法第3条の規定による許可申請」について、委員会処分が2件ございます。

以上を議題といたします。

事務局より説明願います。

事 務 局

はい。議長。

議 長

はい、事務局。

事 務 局

(議案書より順次・申請地詳細・契約内容・事由を朗読)

受付番号7番、8番につきましては、別添調査書にありますとおり、農地法第3条第2項各号に該当しないため、許可要件の全てを満たしていると考えます。

以上、ご審議のほど、よろしく願いいたします。

議 長

続きまして、この件について6月27日に現地調査を実施しておりますので、現地調査の結果について、現地調査委員のご報告をお願いいたします。

12番農業委員

はい。

議 長

はい。12番渡辺委員。

12番農業委員

12番渡辺です。6月27日に2番荻原推進委員と事務局2名と一緒に現地調査に行きまいましたのでご報告いたします。受付番号7番につきましては、譲受人によりますと、昔の国土調査で出ていた境界に基づいて土地の売買をしてしまったようで、土地をまたいでハウスを建ててしまい、現在すでにき

のこの栽培も行っているということで、しょうがないかなと思います。次の受付番号8番につきましては、新里の早川貯水池のところを北上していったところになりまして、そこでハウスを使ってきのこを栽培している譲受人が今後耕作をしていくということですので、活用してもらった方がいいのかなと思うので、よろしくお願いします。

議長 以上、事務局並びに現地調査委員より説明がございました。
地区担当委員で補足説明がございましたら、お願いします。

5番推進委員 はい。

議長 はい。5番大澤推進委員。

5番推進委員 受付番号7番の譲受人ですが、この件に関しては私も以前相談されたことがあったんですけど、この方は本当に真面目にシイタケ栽培をやっている農家の方で、確か桐生市の八木節協会の会長もされてるんですよ。社会的にもきちんとした立場の方なんで、全く問題ないと思います。よろしくお願いします。

議長 ほかにありますか。

8番推進委員 はい。

議長 はい。8番丹羽推進委員。

8番推進委員 譲受人の状況のその他労働力の項目で10名となっておりますが、この部分について説明をお願いします。

12番農業委員 はい。これは分かります。

議長 はい。12番渡辺委員。

12番農業委員 これについてはシイタケの栽培をしたり収穫をしたりする他に、桐生市のほかに太田市や伊勢崎市のスーパーに出荷しているんで、そここのところでの要員だろうなと思っています。

5番推進委員 譲受人は大規模にやられている方で、直売もしているのですが、直売の方は人任せで、頼んでやってもらってるんですよ。今こういう時期なのでなかなか安く人を使えないっていうことでした。また結構人の出入りが激しいそうで、人員は常に余裕を持って使ってるっていうことをおっしゃっていました。

8番推進委員 はい、分かりました。

議長 ほかに。そうしましたら先ほど渡辺委員が国土調査の話とかいろんな話をしていたかと思いますが、最終的には申請地が贈与という形で出てきていることについて事務局で何か知ってることがありましたら説明願います。

事務局 こちらの件につきましては、令和2年に3条の許可申請が出ておりましたが、譲渡人が昔の国土調査をもとにした地図を持っていて、それに基づいて売買をしたところ、現在の境界との相違があり、互いに誤った認識をもって売買を行ってしまったということできちんと話し合いを行った結果、譲受人に贈与するということになったという話を聞いております。

議長 ということは本来買ったつむりの面積に対して286㎡少なかったということで、今回足りない面積分を贈与することになったということでしょうか。

事務局
議長
事務局

はい。

はい。事務局。

こちらで申請者に確認しましたら、譲渡人が昔の国調の図面を持っていて、譲受人もそれが正しいと思い、双方勘違いをしたまま図面通りに考えて契約をしていたそうです。ところが実際には譲渡人の土地がもうちょっと広くて、譲受人の作ったハウスが譲渡人の土地にはみ出ている形になってしまったので、その部分を正すための申請となります。

議長

要は昔の国土調査で出た面積と現在の面積を勘違いしていたということですよ。よろしいでしょうか。

ほかにありますか。

(なしの声)

ないようですので、これをもって質疑を終結いたします。

これより採決いたします。

第101号議案「農地法第3条の規定による許可申請」について、委員会処分が2件ございますが、本件を許可相当として承認することに、賛成の委員の挙手を求めます。

(賛成者 挙手)

挙手全員でございます。

よって、第101号議案は許可相当として承認されました。

続きまして、日程第3 第102号議案「農地法第4条の規定による許可申請」について、委員会処分が1件ございます。

以上を議題といたします。

事務局より説明願います。

事務局
議長
事務局

はい。議長。

はい。事務局。

(議案書より順次・申請地詳細・契約内容・事由を朗読)

受付番号1番の立地基準につきましては、生産性は低い農地で、小集団の農地の区域内でありますので、第2種農地と判断します。

用地選定については、より適した代替地を探すのは困難と思われるので、基準を満たしていると考えます。

次に、一般基準についてですが、いずれも全ての基準を満たしていると考えます。

以上、ご審議のほど、よろしく願いいたします。

議 長 続きますで、この件について6月27日に現地調査を実施しておりますので、現地調査の結果について、現地調査委員のご報告をお願いいたします。

12番農業委員 はい。

議 長 はい。12番渡辺委員。

12番農業委員 12番渡辺です。

受付番号1番について、場所は吾妻山の南に位置しまして、現地に家がありましたが今は誰も住んでいない状態で、申請地についても庭のような感じになっておりました。申請地が二つに分かれているのは多分間に道が入ったので昔は一つの土地であったのかなと思います。以上です。

議 長 以上、事務局並びに現地調査委員より説明がございました。

また、地区担当委員で補足説明がございましたら、お願いします。

2番農業委員 はい。

議 長 はい。2番杉戸委員。

2番農業委員 この地区は私が遊休農地の調査を行っている場所なんですが、申請地から北はあまり人が住んでおらず、申請地の南西には太陽光発電設備があるような場所となっております。以上です。

議 長 はい。それではこれより質疑に移ります。

ご質問はありませんか。

(なしの声)

ないようですので、これをもって質疑を終結いたします。

これより採決いたします。

第102号議案「農地法第4条の規定による許可申請」について、委員会処分が1件ございますが、本件を許可相当として承認することに、賛成の委員の挙手を求めます。

(賛成者 挙手)

挙手全員でございます。

よって、第102号議案は許可相当として承認されました。

続きますで、日程第3 第103号議案「農地法第5条の規定による許可後の計画変更申請」について、委員会処分が1件ございます。

以上を議題といたします。

事務局より説明願います。

事務局 はい。議長。

議 長 はい。事務局。

事務局

(議案書より順次・申請地詳細・契約内容・事由を朗読)

この計画変更申請につきましては、農地法の転用許可を受け、所有権の移転を受けた者が、転用行為を実行せず、かつ、許可取り消しが困難な場合に、必要となる手続きでございます。

受付番号1番につきましては、当初の計画では、当初計画者が一般住宅用地として利用する予定でしたが、他の場所に建築をすることとなり、当初予定していた計画が中止となってしまったということでございます。

なお、関連案件といたしまして、このあとご審議いただきます、第104号議案受付番号15番で露天駐車場用地として5条の農地転用許可申請もされております。

これは、申請地が農地のままであるため、こちらの5条許可の計画変更申請と併せて、新規の転用計画者による5条の許可申請も改めて必要となるものでございます。

農地法の運用上から、それぞれ2つの申請が提出されることとなりますが、ご審議いただく内容は同一のものとなります。

この第103号議案では、平成7年3月に許可となっております、群馬県指令中農第655号の計画を変更することについて、ご審議いただけますようお願いいたします。

議長

以上、事務局より説明がございました。

また、地区担当委員で補足説明がございましたら、お願いします。

ないようですので、これより質疑に移ります。

ご質問はありませんか。

8番推進委員

はい。

議長

はい。8番丹羽推進委員。

8番推進委員

平成7年に農地法第5条の許可を受け、その後転用の目的通りの対応ができなかったというようなことなんですけども、許可を受けてからもう何十年も経っているわけですが、このような場合はある程度行政の方から許可の目的を達成するよう指導などは行わないのですか。

議長

はい。事務局。

事務局

今の質問に関してなんですけど、こちらとしては当初出された申請の計画通りに転用してもらえるというのが理想ではあるんですけども、申請者のその後の状況ですとか、そういったところで当初計画していた通りに転用することが難しくなってしまうようなことも考えられまして、そういった場合には時間がかかっても転用計画通りに進めると解釈をしまして、これまでは明らかに違反をすとかいったことでなければ特に指導を行っておりません。以上です。

8番推進委員

農振除外が必要な区域ですと、除外を行っても何もしないところについては行政から催促をされるといったことを聞いたのですが、そういうのとはまた違うんですかね。

議 長
事 務 局

はい。事務局。

除外に関しましては、今手元に今資料がないのではっきりしたことは言えないんですが、農振の許可後3年以内に転用の手続きをしない場合青地に戻すことを許可書に明記しています。それなので白地から青地へ戻すときに、あえてもう一度通知をすることはありません。新里村や黒保根村の時代に遡って、かなりの年数が経過しているにもかかわらず転用かけずにそのまま放置しているケースについては、状況や状態を見ながら編入をどんどん繰り返しています。県からもある程度示されておりますが、例えば桐生でいうと新里と黒保根の一部なんですけど、農振のうちいわゆる青地の面積について制限がかけられるという話が出ております。そうなりますとこれからは本当に必要な除外ができなくなってしまうので、未転用の1種、2種農地につきましてはどんどん編入をかけております。そこはご理解ください。以上です。

議 長

今事務局から説明があったように除外だけ通して、実際には農業委員会に許可申請をしないでそのままにしてある場合について、農林振興課から年に1回行われる除外の審議会のときに編入をする旨の報告を受けてはいるんですね。ですから本当にちゃんとした手続きを取らないでそのまま除外だけをしたという形だけだと今後の農振地域に戻っていきますよということだけは頭に入れていただいて、除外をかけた場合には転用をして、駐車場であったり住宅であったりちゃんと本来の目的で申請をしてもらい、利用していただくということが正しいんだと思います。

その他にありますかね。

2番農業委員

はい。

議 長

はい。2番杉戸委員。

2番農業委員

許可の申請をしてもらうときに銀行からの融資証明書などを添付してもらっていると思うんですが、従来は金融機関から借りることが難しくて、本当に借りられるのかどうか分からないものがあったかと思うんですよ。許可申請の内容について事務局以外は分からないわけだから、丹羽推進委員が言うように長期間放置されている場合には通知を送るなどして指導を行っていくというのも一つの方法だと思います。

議 長

はい。それではよろしいでしょうか。これをもって質疑を終結いたします。これより採決いたします。

第103号議案「農地法第5条の規定による許可後の計画変更申請」について、委員会処分が1件ございますが、本件を計画変更申請のとおり承認することに、賛成の委員の挙手を求めます。

(賛成者 挙手)

挙手全員でございます。

よって、第103号議案は計画変更申請のとおり承認されました。

日程第3 第104号議案「農地法第5条の規定による許可申請」について、委員会処分が5件ございます。

以上を議題といたします。

事務局より説明願います。

事務局
議長
事務局

はい。議長。

はい。事務局。

(議案書より順次・申請地詳細・契約内容・事由を朗読)

まず、受付番号16番、17番の立地基準につきましては、生産性は低い農地で、小集団の農地の区域内でありますので、第2種農地と判断します。

受付番号13番、14番の立地基準につきましては、土地改良区内にある農地であるため、第1種農地と判断しますが、地域において居住する者の日常生活上必要な施設で集落に接続して設置されると思われまますので、基準を満たしていると考えます。

受付番号15番の立地基準につきましては、集団的に存在する農地であるため、第1種農地と判断しますが、地域において居住する者の日常生活上必要な施設で集落に接続して設置されると思われまますので、基準を満たしていると考えます。

用地選定については、より適した代替地を探すのは困難と思われまますので、基準を満たしていると考えます。

次に、一般基準についてですが、いずれも全ての基準を満たしていると考えまます。

以上13番から17番まで農地法第5条第2項各号には該当しないため、許可要件の全てを満たしていると考えまます。

ご審議のほど、よろしく願いいたします。

議長

続きまして、この件について6月27日に現地調査を実施しておりますので、現地調査の結果について、現地調査委員のご報告をお願いいたします。

12番農業委員

はい。

議長

はい。12番渡辺委員。

12番農業委員

12番渡辺です。受付番号13番の場所ですが、新里中央小のそばで、学校の近くで周辺に住宅が増えてるということでやむを得ないかなと思います。受付番号14番の場所ですが、譲受人の施設があり、その周りが駐車場になってきております。現地は原野のような状態でしたので、駐車場として利用してもらえればそれでやむを得ないのかなと思います。受付番号15番ですが、先ほどの103号議案と同じ場所なので、説明は省略させていただきます。受付番号16番以降は黒保根となりますので2番荻原推進委員にお願いしたいと思ひます。

2番推進委員

はい。

議長

はい。2番荻原推進委員。

2番推進委員 2番推進委員萩原です。受付番号16番につきまして、黒保根支所の信号を左折しまして、北上していくと上田沢橋を渡った後左折をしていきますと、最初の住宅が右側にございまして、その住宅を過ぎていきますと左側に下っていく道があるんですけど、その道に沿って左側に当該申請書がございます。こちらの土地は道路からは直角に切り立っている場所で、高さで言いますと4mから5mくらいありました。現状を確認しますと作物は作っておらず、雑草が生えているような状態でしたが、きちんと管理はされているような印象を受けました。申請地の南隣には家が建っておりまして、家のさらに南は雑木林となっております。現地を見る限りでは特段の問題はないと判断しております。続きまして、受付番号17番につきましては、受付番号16番のところから大通りに出まして、西に進みますと右に折れる道路があるますので右折をしまして、さらに進んでいって右折をしますと申請地に着くわけですが、申請地は見えていただくとわかるようにちょっと鍵状の形でして、入口はちょっと狭く奥行きが広いという形になっております。こちらの方も現状を確認する限り問題はないと思われますので、以上ご審議をよろしくお願い申し上げます。

議長 以上、事務局並びに現地調査委員より説明がございました。
地区担当委員で補足説明がございましたら、お願いします。
ないようですので、これより質疑に移ります。
ご質問はありませんか。

8番推進委員 はい。

事務局 はい。8番丹羽推進委員。

8番推進委員 たしか新しく盛土規制法というものができたと思うのですが、その説明をお願いします。

議長 はい。事務局。

事務局 今回の受付番号17番につきましては、先月の委員会で審議予定の案件として出てきたもので、本来であれば先月の委員会で審議をする予定でしたが、新たに制定された盛土規制法の関係で、所管をしている県の建築課から連絡がありまして、先月の委員会の日である5月26日の月曜日までに許可が下りる見込みがないため、許可申請の審議を翌月に回すよう話がありまして、結果を申請者に伝えまして、それで今月になりまして盛土規制法の許可が下りたため今回このような形で審議にかけさせていただいている状況です。

議長 はい。ほかに。

13番農業委員 はい。

議長 はい。13番矢内委員。

13番農業委員 13番矢内です。盛土というと、この案件は低い土地なんですか。

議長 はい。事務局。

事務局 受付番号17番につきまして、受付時に申請者に確認をしましたところ、当初盛土は行わないというような話で伺っていらして、こちらとしては盛土がな

いのであればということで、申請を受けたわけですが、その後、全ての申請を締め切った後に桐生市の建築指導課経由で県の建築課にこちらに提出されている申請内容を全て報告するというような処理がありまして、県の建築課から、こちらの申請について詳しく聞きたいことがあるので、申請者にそれを伝え県の建築課に連絡をしてほしいという話があり、申請者から県の建築課へ連絡をしてもらいました。その結果、今回の案件では申請地の中で多少高さを調整するというようなことが判明しまして、その関係で県の建築課でちょっと審査を必要だというような判断に至って、先月は許可が下りないというような流れになってしまったとのこと。申請受付時にはこちらでも当初盛土の有無を確認するんですが、県で独自に判断する基準がある部分もあるので、それ以降、こちらでは申請があるたびに申請者や申請予定がある方には盛土がなかったとしても県の建築課には必ず連絡をするようにお話をさせていただいてます。

これについては県の東部農業事務所からも盛土規制法に関しては同じように盛土の有無に関わらず県の建築課に連絡するように指導していただきたいというようなお話がありました。以上です。

13番農業委員 今回の申請地の近くには私の知人の家があるんですが、この辺全体的に平らなんですよね。現地調査に行った委員さんは分かるかと思いますが、盛土も切土も全然必要ないような気がするんですけど。

議 長 はい。事務局。

事 務 局 今回こちらにあがっている議案については、県の建築課より許可が下りたということで報告が上がっております。全体の流れとしましては、まず県の建築課とその申請者の間でどのような形で工事をしたりするのかといったことを話し合い、あとは詳細な計画を県の建築課に提出をしてもらい、それで審議をするというような形だということは確認が取れているんですが、あくまでも盛土規制法の担当が県の建築課という形になりますので、どういった基準で審査をしてるのかに関しましては申し訳ないんですけど、ここで説明をすることができません。以上です。

議 長 はい。よろしいでしょうか。こちらとしては見守るしかないということですかね。

他にございますか。

8番推進委員 はい。

事 務 局 はい。8番丹羽推進委員。

8番推進委員 今回の件について、例えば宅地造成規制区域とかの区域に入ってるんで、県の建築課とか、桐生市の建築指導課のチェックが入ったっていう、そういうことなんですかね。

議 長 はい。事務局。

事 務 局 盛土規制法については令和7年5月26日に施行されたものでございます。最初は盛土がなければ事前協議が必要ないというお話でした。しかし実際には

当月許可申請として受付したものを、まずは市の建築指導課にこういう案件があったということを送付して、そこから県の建築課に送る形をとりまして、その後県で審査をした結果、申請者に要確認ということになったんですよ。盛土規制法も制定されたばかりなのでまだ県の方もどのように対応していくか手探りの状態だと思うんですね。順番も本来でしたら、盛土規制の方が許可申請よりも先に承認になっていなければならないんですけども、業務のフローチャートからすると、まずは農業委員会で許可申請を受け付けて、市の建築指導課にデータを送って、それから県に送るという流れで事務を行うよう通知が来ますので、事務局としてはそれなりの説明させていただいたら今回そういうことが起こったということでございます。以上です。

8 番推進委員　それでは宅造規制区域ではなくても、盛土規制法の該当にはなるっていうことでいいわけですか。

事務局　盛土規制法について、面積要件は今のところないという話でございます。

8 番推進委員　そうではなくて、例えば盛土が 2 m で、それを切土して、また盛土したとかそういうのは宅地造成規制区域じゃなくても、そういう工事をするとみんな該当になるという解釈でいいのですか。

事務局　その部分については県の判断になりますので、農業委員会でどれが盛土規制法の対象になるかという判断はできておりません。開発及び再エネ条例の関係に関しては、桐生市の建築指導課が担当になりまして、今回話に出てきている盛土規制法については市ではなく県の建築課が担当という形になります。該当地区ですとか、盛土の高低の関係で、該当になったりならなかったりするということなんですけれども、県の建築課としては該当の有無にかかわらずまずは相談をしてほしいということでした。相談があった時点で該当しないものについては非該当であることを伝えているそうです。許可が必要な件に関しては申請者と県の建築課の間で図面のやりとりをし、図面には県の建築課で指示をした文言を計画に盛り込んで提出をしてもらおうといった方法をとっているそうです。こちらとしてはもう許可申請をする際には必ず県の建築課に連絡をしてもらおうようお願いをさせていただいており、事前に要は相談があった場合、あらかじめ県の建築課には連絡はさせていただいているんですが、あくまでも県の建築課が審査をして許可を出すのは、こちらの許可申請の締め切り後にこちらから市の建築指導課経由で県に資料が上がった時点で審査を開始するというような形になっておりますので、どうしても許可になるまでの期間が短くなってしまいうということが現状となっております。以上です。

議長　よろしいでしょうか。ほかにありませんか。

(なしの声)

ないようですので、これをもって質疑を終結いたします。

これより採決いたします。

第104号議案「農地法第5条の規定による許可申請」について、委員会処分が5件ございますが、本件を許可相当として承認することに、賛成の委員の挙手を求めます。

(賛成者 挙手)

挙手全員でございます。

よって、第104号議案は許可相当として承認されました。

日程第4 報告第47号「農地法第4条第1項第7号の規定による届出」について、事務局より説明願います。

事務局
議長
事務局

はい。議長。

はい。事務局。

報告第47号「農地法第4条第1項第7号の規定による届出」については2件ございました。

いずれも内容については記載のとおりでございます。

添付書類も含め完備しておりましたので、事務局長専決により、書類を受理いたしました。

以上でございます。

議長

以上、事務局からの説明がありましたが、ただ今の報告第47号について発言のある方は挙手をお願いします。

(なしの声)

ないようですので、続きまして、報告第48号「農地法第5条第1項第6号の規定による届出」について、事務局より説明願います。

事務局
議長
事務局

はい。議長。

はい。事務局。

報告第48号「農地法第5条第1項第6号の規定による届出」については7件ございました。

いずれも内容については記載のとおりでございます。

添付書類も含め完備しておりましたので、事務局長専決により、書類を受理いたしました。

以上でございます。

議長

以上、事務局からの説明がありましたが、ただ今の報告第48号について発言のある方は挙手をお願いします。

(なしの声)

ないようですので、これをもって報告を終結いたします。

以上で本日の議題及び報告はすべて終了いたしました。

これもちまして、本日の会議を終了いたします。

閉 会 午後 3 時 0 7 分

以上、会議の顛末を録し、その相違のないことを証するため署名捺印する。

会 長

1 0 番

1 1 番